



特定健診・がん検診を 受診しましょう！ ～住民健診が始まります～

日本人の死因の中で多い、がん、心疾患、脳卒中の予防のためには、定期的な運動やバランスの良い食事といった生活習慣が非常に大切です。しかし、自分は大丈夫と以为ていても生活習慣病やがんは自覚症状がないままに進行している場合もあります。そのため、定期的な健診が大切になります。

各市町村が実施主体となっている住民健診(特定健診・がん検診)が順次始まります。受診券やクーポン券がお手元に届きましたら、ぜひ健診を受けましょう！



生活習慣病やがんの予防・早期発見のために



一次予防:生活習慣の改善

禁煙



バランスの良い食事



定期的な運動



二次予防:定期的な健診



定期的に特定健診・がん検診を受ける。



・特定健診とは・・・

生活習慣病の予防のために、対象者(40～74歳)の方にメタボリックシンドロームに着目した健診を行います。

問診、身体測定、血圧測定、血液検査(肝機能、血清脂質、血糖値)、尿検査(尿糖、尿蛋白)などを行います。

・がん検診・・・

胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん



特定健診やがん検診は各市町村や、職場で受診することができます。詳しくは、お住まいの市町村や、職場の健診担当者へお問い合わせください。

体の状態を確認して生活習慣を見直すきっかけとするためにも、
毎年特定健診・がん検診を受けましょう！

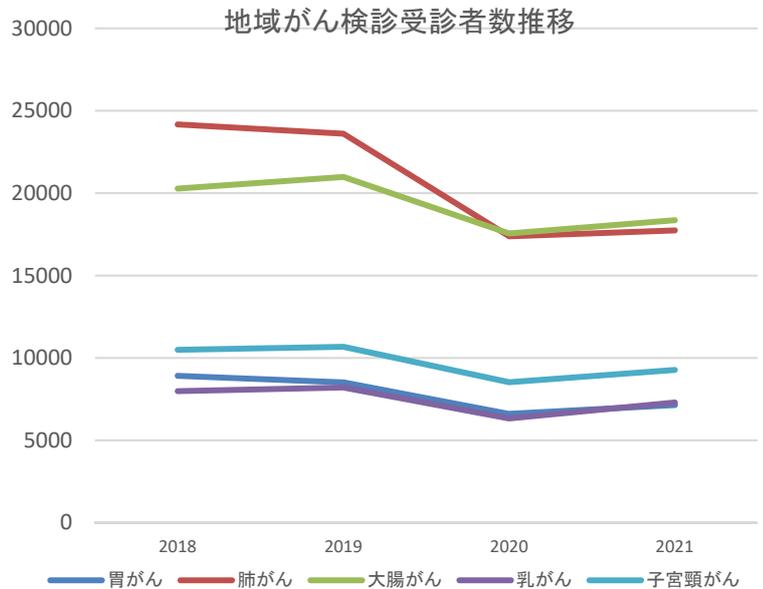


新型コロナウイルス がん検診への影響

当事業団が実施した、コロナ禍前からの地域がん検診の受診者数の推移です。

2020年度新型コロナウイルス感染症の流行により、受診控え、感染症対策による受診制限もあり大きく受診者数が減っています。2021年度は受診者数は少し戻りましたがまだまだ、コロナ前には戻っていません。特に自覚症状のない人（早期がん）が、受診控えによって進行してから見つかる場合もあります。

がん検診未受診の方は、集団健（検）診、個別健（検）診は問いません、是非 早期に健（検）診を受診ください。



～2022年度 県内海水浴場の水質は上級ランク～

夏といえば海水浴！！

海水浴を楽しみにしておられる人も多いのではないのでしょうか。

皆様が安心安全に海水浴を楽しんでいただくために、海開き前とシーズン中に水質検査が行われます。今年度の県内海水浴場は「水質AA」！！

海水浴場の水質判定基準等について

・海水浴場の水質は、4つの項目（ふん便性大腸菌群数、油膜、COD、透明度）に判定基準が設けられており、その結果に基づいて5ランクに判定されています。テレビニュースや新聞で鳥取県内の海水浴場の「水質AA」や「水質A」の発表をご覧になられた方もおられると思います。水質AAが一番きれいで、次いでA、B、Cの順となっています。

【水浴場水質判定基準】

区分		ふん便性 大腸菌群数 (個/100mL)	油膜	COD (mg/L)	透明度 (m)
適	水質 AA	不検出 (検出限界2)	認められない	2以下	1以上
	水質 A	100以下			
可	水質 B	400以下	常時は認められない	5以下	0.5以上1未満
	水質 C	1,000以下		8以下	
不適		1,000を超える	常時認められる	8超	0.5未満

人や動物のふん便で汚染されていない、油が水面に浮いていない、排水等からの有機物で汚染されていない、海水が透き通っていることを検査して海水浴場として開設されます。

採水の様子 (海水浴場開設前)



海水も冷たい5月に採水し検査を実施します。



海水浴は、監視員のいる開設中の海水浴場をご利用ください。また、泳ぐ前には十分な準備運動をしましょう。水難事故を起こさないために、体調不良時や飲酒をして泳がない、遊泳禁止区域では泳がないなどルールを守って海水浴を楽しみましょう。